

各 位

平成 14 年 2 月 14 日

会社名 株式会社フォトニクス
代表者名 代表取締役社長 柄澤 憲彦
コード番号 7708
上場取引所 大証ナスダックジャパン市場
問合せ先 取締役 COO 柳田 一千一
(TEL 03-5941-0571)

平成 14 年 6 月期業績予想 (通期・中間期) の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、前回に公表した業績予想を下記の通り修正いたします。

記

(1) 通期 (単位 : 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 13 年 8 月 28 日発表)	2,100	520	300
今回修正予想 (B)	1,400	220	130
増減額 (B - A)	700	740	430
増減率	33.3	-	-
前期 (平成 13 年 6 月期) 実績	1,400	413	289

(2) 中間期 (単位 : 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 13 年 8 月 28 日発表)	700	120	70
今回修正予想 (B)	606	95	61
増減額 (B - A)	93	215	131
増減率	13.4		
前中間期 (平成 12 年 12 月期) 実績	319	33	32

(3) 修正理由

通期

通期で 1,400 百万円の売上高、当期純損失 130 百万円と業績予想を修正いたします。売上高の修正は、第 1 四半期の見通しより、市場の情勢が厳しいと判断したこと、また、現在進行中のナノアクチュエーター等新製品の開発が当初計画よりずれこみ当期貢献額は小幅になる見通しとなりました。経常利益、当期純利益の修正は、売上高の減少と長岡工場での子会社創業に関わる費用計上が大きなき要因であります。

中間期

売上高の修正は、光計測装置部門が光通信の需要減退により、安全対策機器部門も景況の影響から売上計画は未達となる見込みであります。経常利益の修正は、高収益の PS センサの割合が低くなり、粗利益が減少する見込みであります。また、長岡工場による超精密塑性加工事業は、平成 13 年 10 月に設立した当社 100% 出資子会社である株式会社エスピーシーにより事業化いたしました。本格操業は平成 14 年 1 月より行っておりますが、この子会社設立に伴う費用負担等により販管費が増加し、利益が減少する見込みであります。

以上